

# 木下大サーカスに行ってきました！ ～G.H.上除・G.H.虹～



平成 17 年 8 月 2 日(火)、猛暑の中、上除寮と虹の初めての合同レクリエーション。木下大サーカスに行ってきました。



8月2日火曜日、医療センターから車を借りて中越地震でプレハブで住宅に住んでいる人達と新潟で公演している木下サーカスを見に行ってきました。

企画者にお礼の言葉を申します。そして皆さんで行って来てとても良かったなと思いました。企画者の方に公演の内容の良かったことに大変感謝します。とても印象が良かったです。

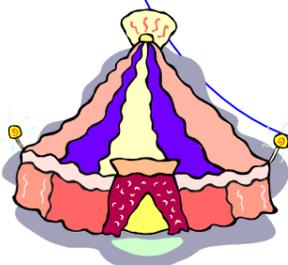
新潟市のふるさと村で食事取り帰って来ました。職員の皆さん、企画してくれた方、感謝して居ります。又機会がありましたらいきたいなと思います。本当に一日感謝を込めてありがとうございました。健康に気をつけてがんばってください。

オートバイ・動物の演技が面白かった。

素晴らしい団員さんや優しい動物達の演技非常に楽しかったです。

サーカスおもしろかった。サンスマイルに居る時も行った事があるが、今回とても良かった。

キリンが高かった。館内は暑かった。空中ブランコは楽しかった。

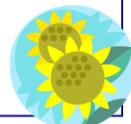


## グループホーム上除

- ・ 退寮 1名 (H17.6.4) アパートへ
- ・ 入寮 1名 (H17.6.30) 県立医療センター共同住居より

## 事務局からのお知らせ

NPO 事務局の運営委員に  
片桐 義輝さんが入りました。



Let's talk together!

# メンタル通信

メンタルヘルス協会 運営委員 福島紳行

平成15年8月に長岡メンタルヘルス協会の会員となりお手伝いをさせていただいております。

私は旧悠久荘の家族会会員でしたが、平成11年の5月迄仕事をしていましたので、家族会への参加はそれ以後で家族会のこともほとんど解っておりませんでした。

其の後、「親なきあと」のことや、「社会復帰」の目標等が言われるようになり、自分の子供のことを考えても、指導や介護なしでは生活出来ず、対人関係や日常生活の援助が必要です。

生活の準備をするための施設を経て、一人で生活するには指導したり食事の世話をする人がおり、又同居者との関りを持ちながら生活出来る「グループホーム」が一番良いと思います。

15年の春11月フリーマーケットの準備を始めて手伝ってみました。

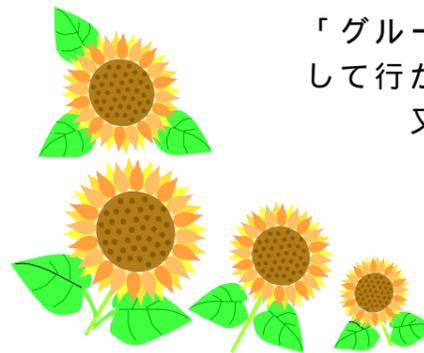
皆さんは慣れた様子で価格の決定や展示等をやられ、私も見様、見真似で手伝いましたが、後日、悠久家族会が行った病院の文化祭バザーに役立つことになりました。

「グループホーム」はまだ少なく、これから退院したり、待機している方々はすぐには入れない状況です。又、病気の状態によって入院出来ない人もあり、ホームが多く出来れば色々な人が多く入れるようになると思います。

運営の方も色々大変だとは思いますが、家族の皆さんは、何故このような病気になったのかと苦しい思いをしながら、自分達がいなくなった後も、少しでも人並の生活が出来るようにと日夜心をいためています。

「グループホーム」もこのような要望にこたえられるよう努力して行かねばと考えています。

又、仮設住宅での「グループホーム虹」では家族会も出来、先月「グループホーム」再建を長岡市長に要望したとのこと、必要があれば悠久家族会も協力出来ればと思います。



## 「グループホーム虹の再建に向かって」

グループホーム虹家族会 会長 青木 正男

昨年、10月23日の中越大地震は、瞬時にして13名の精神障害者達の住居を奪いました。

下山6丁目のパレスタウンは、老朽化がひどく、青木正男が家族7名の方の協力を得て、平成15年7月29日、森民夫長岡市長と会い要望書を提出、長岡市長は住居の改善について充分承知されており、市当局との懸案事項となっていた。

11月下旬、13名の仮設住宅(千歳町1)への入居(12月2日)が決まった。

私は、長部県議会議員の協力を得て、障害者の目線で、市当局者ときびしい交渉を行った。

まず第一に、入居してそれを管理する能力のない人達をなぜ入居させるのか、と嚴重抗議した。そして市当局者が考えている配食サービスについて、理由を述べて、断固、「ヤメナサイ」といった。更に、朝夕の食事と日常の世話をしてくれる「おばさん(小野塚フサさん)」が絶対必要であること、炊事の場所、食堂と集会所を兼ねたものが1戸必要であること、職を失っている小野塚さんの雇用の確保について、強力に要請しました。

11月28日、市当局者から青木正男宛に電話があり、「国や県に働きかけたところ2年間の特例措置としてグループホームの扱いをすることになった。」と。(補助金国2分の1、県4分の1、市4分の1)

私は、これで一番心配した小野塚さんの雇用が確保される、その他のことも要望通りになる...よかった、と思ったものでした。

入居以来7ヶ月を経た今日、いろいろと大変です。早く仮設から出してあげたい...だけど、先は、見えておりません。各位の切なる御尽力御協力をお願いする次第です。



グループホーム 虹 世話人 仲井

私はグループホームにつとめて、約七ヶ月がすぎようとしています。

毎日毎日の食事はホームの皆さんの健康を左右することですので、いつも神経をつかって居ります。今日の食事はおいしかったと言われると、うれしいことです。

最初のころは、私もホームの人達とは馴染めなかったのですが、今では皆さんの笑顔が見えるようになり、私も私なりに皆さんとの親しく接することにより、自分自身が教えられることが多くあります。

気持ちは母親のような、接し方でよいのだと最近思うようになりました。

## 「グループホーム虹の移転再建について」

NPO法人長岡メンタルヘルス協会副理事長 服部潤吉

輝けどそは遠し、尾花吹く風。

平成16年10月の中越地震により、食事つき共同住居パレスタウンは壊滅状態となり使用不可能となりました。13名のメンバー全員は避難所生活をへて千歳仮設住宅に移転し、グループホーム虹として運営を当法人がになうこととなりました。あれから一年になろうとしています。

仮設住宅の利用期間は2年以内となっており、早急に通常のグループホームの開設移転をめざしたい、もう仮設で冬を越したくないなという思いです。

先日はその仮設内でフリーマーケットを開催し、暑い中、仮設の皆様ほか多数の方々に来ていただき好評でした。今、空いている家やビルを探してあちこち訪ね回ったり、話し合いをもっています。たが、残念ながらまだ移転先は決まってはいません。一般の民家では、今までのメンバーがばらばらになってしまいますし、部屋の構造がグループで住めるようになっていないため、かなり改造が必要です。ビルでは改築費が高額となり私たちが払う家賃では足りないと言われます。地震の復興基金からも助成金はあるのですが、それを加えても足りません。

仮設の屋根は焼け、とても暑いのです。クーラーは一台しかついていないので、二人で住んでいる場合は、一人の方は暑い毎日をご過ごしています。二人の職員は汗を拭き拭き、食事を作り、メンバーを励まし、支援しています。

どうか一日でも早く、メンバーが安心して住めるグループホームが開設できるよう皆様のご支援をお願いいたします。信じて行動すれば夢は必ずかなえられと思っています。

### ~ グループホーム虹にご寄付頂いた品物 ~

エアコン



冷蔵庫



扇風機



世話人の  
小野塚さん



## フリーマーケットを開催しました!

~平成17年7月16日(土)、千歳にてフリーマーケットを開催しました~

始めて、参加さしてもらい、たのしかったです。ボランティアの方達の御苦勞もたいへんですがホームの人達も参加すれば良かったのと思いました。(買い物に来てくれればよかったのに)

近所の人達の声では子供達の服などがあるといいのにと、ホームの人達は自分達の服などがあるといいとそんな意見もありました。

フリーマーケットの売上報告  
約 ¥32,000

ご協力いただき  
ありがとうございました。

